

Women and The Economy summit in San Francisco

株式会社 ディプロム

代表取締役 貴島 清美

中小企業家同友会全国協議会 女性部 副部長

2011年12月1日

今回の参加の背景

●中小企業家同友会とは

全国47都道府県に中小企業が約4万社

「経営者として、経営環境がいかに厳しくても、時代の変化に対応して、経営を維持し発展させる責任がある」を基本に実践的な学びを広げる。

●女性部連絡会では

女性の持つ力を生かした、新たなる仕事づくり、企業づくり・地域づくりの視点を学び、深め、実践。

インパクトの強かったセッション① 「未来・女性と持続可能な経済」



- 女性と科学・技術
- 将来展望として、より高度な技術と環境問題
- 経済を発展、持続させるための、ジェンダギャップと積極的貢献

Megan Smith 新規事業開発副社長 Google
Anne Finucane 国際資源、マーケティング役員 Bank of America
Monthip Sriratana Tabucanon 自然資源環境大臣 Thailand
Karthleen Roger 代表取締役 Earth Day Network

インパクトが強かったセッション②

Papau New Guinea



- 女性の教育と仕事
- ジェンダについて
- 資源とビジネス

Janet Sape 管理部長 PNG Women
会長 Chariady Small
Business Development Corporation.

今回の感想と日本の現状

●資産・資金について

日本の女性の起業環境は他国に比べ、恵まれていると感じる。しかし、結婚してからは自分名義の資産を持っていることが少ないため、小規模な起業に収まるケースが多い。

●市場へのアクセスについて

全体を通して、女性は身近な問題からの取り組みや生活者の視点に立ったビジネス展開が多いのは共通していると感じた。
販路拡大のためには、インターネットなどの通信技術の活用が不可欠と判断する。

今回の感想と日本の現状

●能力構築

働く環境が整っている場合は、継続した能力や知識を得ることが可能であるが、出産、子育てなどがある場合、家族や社会的な援助がないと能力の向上が見込めない場合が多い。

●リーダーシップ

近年では、女性の活用に積極的な企業が多くなったが、賃金や決定権などについては、優位に立っているとはいえない。
女性が活躍するためには、男性の理解と社会の仕組みが必要である。

今後の課題と推進

- APEC WESにおいて討議し合った内容についての実践と検証
- 産・官・学・金の役割と目標の設定
- 参加者たちとの継続した情報交換と連動
- グローバルな視点と能力を持つ人材育成
- 協力団体とのコラボ

推進イメージ

